

## 2023年10月 キューバ情勢

### 【概況】

#### 1 内政

- (1) 人民権力全国議会第10立法期第2回通常会期に提出する法律案の承認
- (2) ディアスカネル大統領への単独インタビュー
- (3) 閣僚評議会の開催

#### 2 外交

- (1) カブリサス副首相の中国訪問
- (2) ロサダ共産党国際関係局長の第3回一帯一路フォーラム出席
- (3) 日キューバ政策対話の開催
- (4) ロドリゲス外務大臣の記者会見
- (5) キューバ・ロシア・ビジネス評議会会長のキューバ訪問
- (6) ディアスカネル大統領の移民に関する地域サミットへの出席
- (7) カブリサス副首相のロシア訪問

#### 3 経済

- (1) 持続可能な対外債務返済計画に関する会合開催
- (2) キューバ国内のガソリンスタンドが現金での支払いを停止
- (3) ケニア、キューバとの医療協力協定を更新しないと発表
- (4) メキシコがキューバに約40万バレルの石油を追加供給
- (5) ハバナ湾で中国製浮きドックが操業開始
- (6) ベトナムがキューバへ米を寄贈
- (7) 保健省がバハマに専門家を派遣
- (8) キューバのタバコ生産者、「今年は最低限の収穫もない」と警告
- (9) キューバの卵生産、3年間で半減
- (10) ブラジルのキューバへの食品輸出を促進する衛生監視協定

### 【本文】

#### 1 内政

- (1) 人民権力全国議会第10立法期第2回通常会期に提出する法律案の承認

1日に実施された閣僚評議会において、本年12月に実施予定の人民権力全国議会第10立法期第2回通常会期に提出する法律案として、公衆衛生法、農林分野における特別社会保障制度の承認方針及び政令草案、保護地域制度に関する政令草案が承認された。また、農村部における生活条件の改善を目指した施策を評価、提案するための臨時作業部会

の設置、2023年の国家予算執行過程に関する管理報告書、及び財務価格省の収益報告書が承認された。

### (2) ディアスカネル大統領への単独インタビュー

16日、キューバ国営放送は、ディアスカネル大統領への単独インタビューを1時間半に亘って放送した。同大統領は内政・外交の全般につき言及し、特に、現在の深刻な経済危機、米国からの経済制裁、新型コロナウイルス対策の成果、通貨統合の功罪、中小零細企業促進への見方、大量移民の発生、G77+中国、人権理事会理事国選挙等につき述べた。また、インタビュアーからの質問に対する回答として、ディアスカネル大統領が国連総会の機会を捉えて、米国の政治家と非公式に会合を持ったことが明らかにされた。

### (3) 閣僚評議会の開催

30日に行われた閣僚評議会において、ヒル副首相兼経済企画大臣は、2023年9月末時点でのキューバの経済情勢に関する報告書を発表した。右報告書によれば、本年9月末までにキューバを訪れた外国人観光客数は180万人であり、これは予測数の75.5%に相当し、また2019年の同時期の観光客数の55%に相当し、観光サービスの輸出は46%増加した。また、燃料不足及び生産工程における問題の影響で、米、牛肉、生乳、卵の国庫への納入が減少していると述べた。加えて同評議会では、国内市場への生活必需品の供給や国内産業への供給を目的としたプロジェクト、及び食品生産、工業、鉱業、輸送、物流等の分野でのプロジェクトを中心とした729のプロジェクトを含む新たな外国投資機会の案件一覧表が承認された。

## 2 外交

### (1) カブリサス副首相の中国訪問

16日から26日にかけて、カブリサス副首相兼外国貿易・外国投資大臣は、2022年11月のディアスカネル大統領訪中時に両国政府で合意された事項の実施を進めることを目的とし、経済・商業・金融関係政府間委員会の第30回会合において共同議長を務めるため中国を訪問した。本会合では、中国側は王文涛商務大臣が共同議長を務め、バイオテクノロジー、再生可能エネルギー、食糧生産、観光、通信、砂糖産業、輸送、貿易など共通の関心分野が示され、キューバの戦略的パートナーとしての中国の役割が再確認された。その他カブリサス副首相は、バイオテクノロジー分野の両国間の合弁会社を視察訪問した。

### (2) ロサダ共産党国際関係局長の第3回一帯一路フォーラム出席

16日、ロサダ共産党国際関係局長は、第3回一帯一路フォーラムへ出席するため中国を訪問し、バルハ高等教育大臣及びベヘラノ会計監査官が同行した。キューバは「国民間

の連結性」と題するサブフォーラムに参加した。ロサダ局長は中国共産党のカウンターパートである劉建超・中央対外連絡部部長及び韓文秀・中央経済金融委員会副主任と会談を行った。

### (3) 日キューバ政策対話の開催

17日、東京において、第16回日キューバ政策対話が開催され、日本側は野口中南米局長、キューバ側はビダル外務次官が議長を務めた。両者は、二国間関係の良好な状態と協力関係の前向きな発展について言及し、また、キューバと日本がそれぞれ議長国を務めるG77+中国とG7の枠組みにおける協力の可能性についても強調した。ビダル次官は堀井外務副大臣及び古屋日キューバ友好議員連盟会長とも会談を行った。

### (4) ロドリゲス外務大臣の記者会見

19日、ロドリゲス外務大臣は、ハマスとイスラエル間の紛争及び「米国による対キューバ経済制裁終了の必要性」に関する決議案について会見を行った。前者に関しては、イスラエルの行為及び米国政府の対応を非難し、キューバは現在の状況に終止符を打つための正当な国際的努力をあらゆる可能な方法で支援し、貢献すると述べた。後者に関して、同決議案を提出するのは今回で31回目であり、外国銀行による契約解除とサービス停止、コロナ禍における医薬品販売拒否、観光業への影響等を例に挙げて米国による経済制裁を非難し、同決議案への支持を求めた。

### (5) キューバ・ロシア・ビジネス評議会会長のキューバ訪問

19日、ティトフ・キューバ・ロシア・ビジネス評議会会長兼ロシア大統領府企業家権利アドバイザーがキューバを訪問し、ディアスカネル大統領と会談した（詳細は公表されず）。会談にはヒル副首相兼経済企画大臣、ゴンサレス外国貿易・対外投資省第一次官が同席。ティトフ氏のハバナ訪問は今年2度目。

### (6) ディアスカネル大統領の移民に関する地域サミットへの出席

22日、ディアスカネル大統領は、ロドリゲス外務大臣等を含むキューバ代表団を率いて移民地域サミット「幸福と友愛の隣人会議」（パレンケ会議）に出席した。中南米の複雑な移民状況に対処するためにメキシコ政府が招集したこの会議は1日で終了し、移民の構造的な原因とその結果に対処するための包括的な行動計画の採択に至った。キューバは改めて、キューバ移民の構造的な原因は、60年以上にわたる米国による封鎖にあると主張した。

### (7) カブリサス副首相のロシア訪問

29日から31日にかけて、カブリサス副首相兼外国貿易・外国投資大臣はロシアを訪

問し、リアブコフ・ロシア外務副大臣と会談を行った。会談では、政治、貿易、経済、投資、文化、人道の分野におけるロシアとキューバの戦略的パートナーシップの強化に関する問題が取り扱われた。

### 3 経済

#### (1) 持続可能な対外債務返済計画に関する会合開催

1日、ヒル副首相兼経済企画大臣が召集して実施された会合において、キューバの対外債務の持続可能性のための計画が議論された。その中では、債務の支払いに一部充当される収入を得るために第三者との取引を実施することや、有価証券の発行や債務スワップなど、これまで利用されてこなかった新たな金融メカニズムを実施することが提案された。また、これらの目的に使用されるキューバの収入を生み出す能力を、対外融資の限度額として設定することも提案されている。

#### (2) キューバ国内のガソリンスタンドが現金での支払いを停止

キューバ国内の主なガソリンスタンドは、燃料販売の現金支払いを10月31日から停止し、電子決済のみが使用されると国営メディアが報じた。燃料販売を担当するGimex社の説明によると、国営および非国営部門向けにチップカード、国内及び国外向けの磁気ストライプカード、6種類の金額の使い捨てプリペイドカード、決済アプリを通じた電子ピン、及び充電式チップカードが導入される。使い捨てプリペイドカードは同社の商業ネットワークで販売されるほか、通信会社Etecsaの代理店を通じて販売される。

#### (3) ケニア、キューバとの医療協力協定を更新しない旨発表

11日、ケニア政府は、キューバとの6年間の医療協力協定を更新しないと発表した。AP通信によると、この発表はナイロビで開かれた医療従事者との会合でワフラ・ケニア保健相が行ったもので、拍手で迎えられたという。キューバ政府はこの件についてコメントしていない。

#### (4) メキシコがキューバに約40万バレルの石油を追加供給

テキサス大学エネルギー研究所のピニョン上級研究員によると、GAESA（企業運営グループ、Grupo de Administracion Empresarial）所属の石油化学船ヴィルマ号は11日、約41万バレルの石油を積載してメキシコからキューバに向けて出港した。また、パナマ船籍のフォルトゥナート号は、ここ数日、同じくメキシコからオルギンのモア行きの液化石油ガスの積荷を運んだ。同様に先週、同じくGAESA所有のサンディーノ号とペティオン号の2隻のタンカーが、ベネズエラからの燃料を積んでキューバに到着した。この2隻は合わせて62万バレルの石油を積んでいた。

(5) ハバナ湾で中国製浮きドックが操業開始

24日、ハバナ湾で中国製浮きドックが操業を開始した。この浮きドックは中国エンジニアリング大手、中国機械進出口（集団）からキューバ運輸省傘下で同国最大の船舶修繕・建造企業に引き渡されたもので、昨年11月のディアスカネル大統領訪中時の合意事項が実施されたもの。総工費は3400万ドルで、その85%は財政・物価省に供与されたクレジット（2913万8000ドル）で、15年間で支払われることになっている。

(6) ベトナムがキューバへ米を寄贈

25日、ベトナム共産党、政府及びホーチミン市民から寄付された1,200トンの米がキューバに出荷される準備が整った。在ホーチミン・キューバ総領事はホーチミン市とビンズン省からの寄贈に感謝するとともに、キューバに対するベトナムの政治・国家当局と国民の支援は恒久的かつ無条件であることを強調した。

(7) 保健省がバハマに専門家を派遣

25日、バハマのダーヴィル保健福祉大臣は、キューバ保健省が、バハマにおける医療専門家不足及びその他の長期的な問題の解決を支援するため、さらに37人のキューバ人医療専門家をバハマに派遣すると発表した。

(8) キューバの葉巻生産者、「今年は最低限の収穫もない」と警告

独立系メディアによると、主に投入資材と燃料の不足が原因で、現在のタバコ収穫に向けた整地作業は予定より大幅に遅れており、土地はまだ耕されていない。キューバ当局は植え付けを12月31日まで延長することを決定したが、これではタバコの品質が損なわれ、最低限の収穫も得られないと農家は警告している。

(9) キューバの卵生産、3年間で半減

26日、ペレス農業大臣は、キューバの鶏卵生産量は2020年の1日500万個から2023年には220万個に減少すると、政治討論番組「Mesa Redonda」で述べた。キューバでは現在、約300万羽の産卵鶏が飼育されているが、新型コロナウイルスの感染拡大の後、ワクチンが購入できなくなり、交換作業が停止されたため、鶏舎は基本的に高齢の鶏で構成されている。

(10) ブラジルのキューバへの食品輸出を促進する衛生監視協定

27日、ブラジル外務省は、衛生監視に関する協定により、ブラジルのキューバへの食品輸出が促進されると発表した。右協定は、キューバ国立動物衛生センターがブラジル農業省に対し、南米で生産された食品を認証する権限を与えるもので、キューバ当局が求める規制の枠組みの中で行われる。